

平成 29 年 11 月 9 日

『Chance 地銀共同化システム』の CSIRT*設立について

『Chance 地銀共同化システム』（以下、共同化システム）を共同で運営する株式会社めぶきフィナンシャルグループ（社長 寺門 一義）、株式会社百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）、株式会社十六銀行（頭取 村瀬 幸雄）、株式会社南都銀行（頭取 橋本 隆史）、株式会社山口フィナンシャルグループ（社長 吉村 猛）は、このたび、サイバー攻撃の脅威に対応する各行・各社の CSIRT 活動の推進、ならびに緊密な連携体制の構築による相互協力（共助）を目的とした共同化システムのセキュリティインシデント対応組織『Chance-CSIRT』を 11 月 1 日に設立しました。また、株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 三毛 兼承）は同グループの『MUG-CERT』を通して、『Chance-CSIRT』との連携・協業を行うこととしましたのでお知らせいたします。

記

1. 設立の背景

近年の急速な情報通信技術の普及によりビジネスにおいても IT 依存度は急激に高まりました。今後も人工知能をはじめとした技術の進展は、国内外を問わず拡大していく事は明らかであり、金融ビジネスと IT がさらに融合していく事が予想されます。

IT 高度化による環境変化はリスク変化をもたらし、昨今の国際化・組織化したサイバー攻撃の標的となれば、金融機関のみならずお客様や地域経済にも影響を及ぼしうる喫緊の経営課題であると認識しております。

これらリスク環境の変化に対し、既存の取り組みとは異なる新たな対応が必要と考えており、金融機関としての社会的責任を果たすべく、各行の垣根を超え、サイバーセキュリティ分野での共助を目的に『Chance-CSIRT』の設立および『MUG-CERT』との連携・協業を始動します。

2. 『Chance-CSIRT』の概要

『Chance-CSIRT』では、金融サービスの安定を継続的に確保する事を目的に、サイバーセキュリティに関する知識・情報・経験・リソースの共有、及び安全性の向上のための協働を行います。高度で多様化する攻撃に対して、各行が個別に対応していくことは極めて困難な状況であり、組織で連携・団結し、情報と知見を共有することができれば、脅威に対抗していく大きな力となります。

『Chance-CSIRT』各行からMUFGへのトレーニー派遣やMUFGがグループ各社向けに定期的開催しているサイバーセキュリティセミナーやワークショップへの参加など、各行とアライアンスを結ぶ事により、関連知識向上のための人材育成プログラムを積極的に展開していく予定です。

『Chance-CSIRT』の設立により、システム共同化の枠組みをサイバーセキュリティの分野にも広げ、各金融機関のお客さまへの安心・安全なサービスの提供と、信頼性の確保に一層努めてまいります。

*CSIRT (Computer Security Incident Response Team/コンピュータセキュリティインシデント対応チーム)

以 上